

地域公共交通見直しにおける利用状況等について

令和2年6月16日

嘉麻市 地域活性推進課

1 デマンド運行型バス運行状況

① 利用登録者数の推移 (令和2年3月31日現在)

ユーザー登録者数	611人
アプリユーザー登録者数	120人
合計	731人



(令和2年5月末現在)

727人
144人
871人

登録者数増加

② 嘉穂地区試行運行利用状況 (令和2年1月9日(木)～令和2年3月31日(火))

月	運行日数	運行回数	乗車人数
1月	19日	17回	28人
2月	23日	35回	53人
3月	25日	17回	22人
合計	67日	69回	103人

▶ 令和2年4月の実績 (令和2年4月末現在)

地区	運行日数	運行回数	乗車人数
山田地区	25日	46回	53人
稲築地区		51回	54人
碓井地区		22回	51人
嘉穂地区		109回	131人
合計		228回	289人

▶ 令和2年5月の実績 (令和2年5月末現在)

地区	運行日数	運行回数	乗車人数
山田地区	23日	62回	63人
稲築地区		43回	47人
碓井地区		49回	56人
嘉穂地区		130回	161人
合計		284回	327人

※ 1台の車両に複数の利用者が乗車する乗合も発生している。

2 嘉麻市バス等前年度乗車人数比較

《H31年度》

路線名		4月	5月
稲築桂川線		476人	817人
山田市バス	熊ヶ畑～桂川線	4,186人	4,093人
	桂川駅	840人	739人
	総合高校	326人	654人
	生涯学習館～馬古屏	390人	334人
	白木線	295人	386人
	百々谷線	190人	159人
	筑紫線	234人	243人
	下山田線	315人	265人
	稲築線	146人	155人
	小計	5,756人	5,635人
嘉穂市バス	宮野線	230人	201人
	足白線	257人	225人
	千手内回線	339人	286人
	千手外回線	108人	108人
	市内周回線	1,056人	1,101人
	小計	1,990人	1,921人
市バス合計		8,222人	8,373人
福祉バス	稲築福祉バス A路線	1,612人	1,694人
	稲築福祉バス B路線	1,566人	1,658人
	小計	3,178人	3,352人
	碓井福祉バス 上り	535人	414人
	碓井福祉バス 下り	355人	269人
小計	890人	683人	
福祉バス合計		4,068人	4,035人
総合計		12,290人	12,408人

《R2年度》

路線名		4月	5月
幹線路線	稲築桂川線	495人	651人
	熊ヶ畑桂川線	2,563人	2,450人
	市内循環線（東回り）	435人	604人
	市内循環線（西回り）	376人	475人
	小計	3,869人	4,180人
	枝線路線	山田北回線	226人
山田南回線		200人	208人
嘉穂東線		38人	62人
嘉穂西線		50人	47人
稲築北回線		55人	47人
稲築南回線		106人	95人
碓井線		57人	69人
デマンドバス		289人	327人
小計	1,021人	1,115人	
合計		4,890人	5,295人

※ R2年度4月及び5月の利用実績を前年度同月の実績と比較すると4月で約39.8%、5月で約42.7%の乗車人数に留まっている。コロナウイルス感染症に伴う学校休校、公共施設閉鎖等の影響により利用者が減少していると考えられる。

➡ 西鉄バス路線の4、5月の乗車人数は昨年度の半数程度の実績。

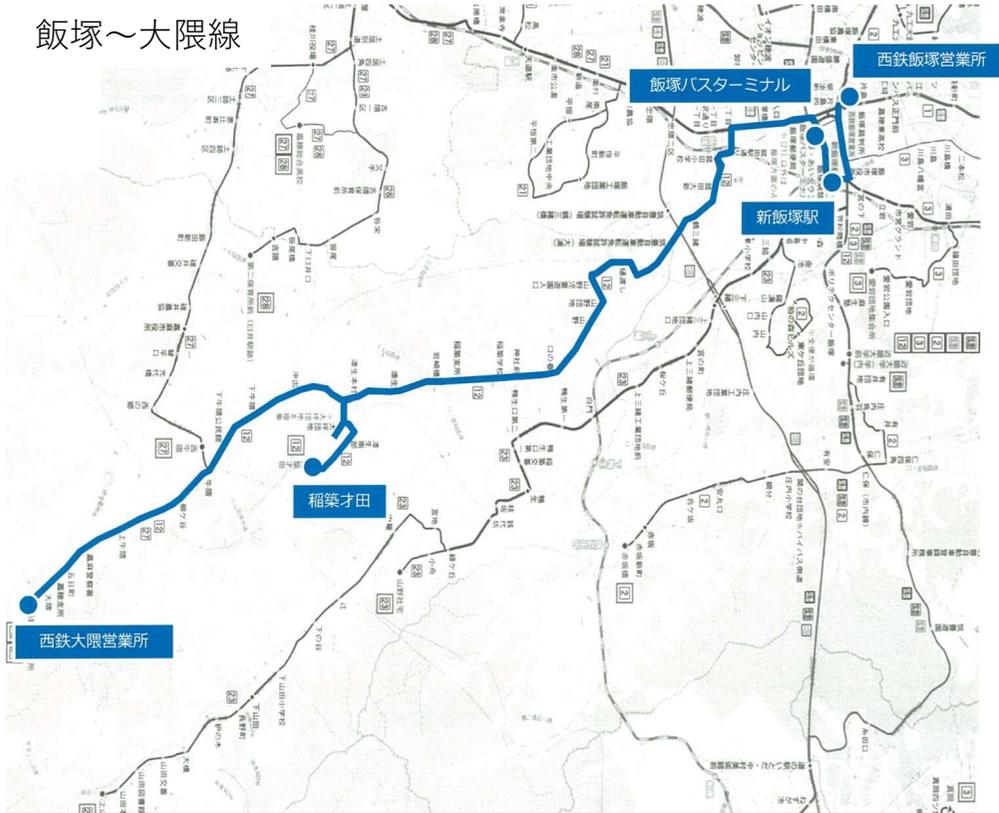
3 西鉄バス筑豊(株)「飯塚～大隈線」及び「上山田線」赤字補てん要望について

特に大きな課題となっている乗務員不足に対応するため、待遇向上や労働環境の改善など、乗務員確保に努めるためには収益性の向上が必要不可欠である状況のなか、少子高齢化に伴う輸送人員は減少傾向で推移しており、事業者による赤字を埋めながらの経営も限界になりつつある。

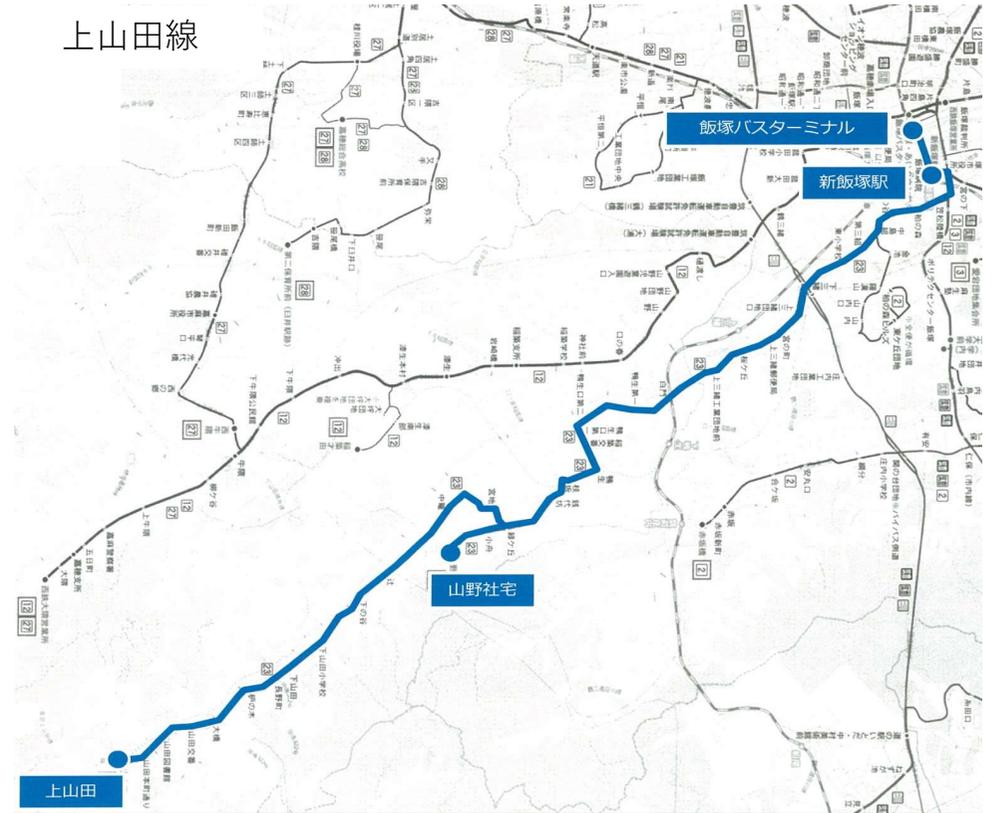
当該路線維持の観点から、国、福岡県からの補てんに加え、令和2年10月1日から沿線自治体である嘉麻市及び飯塚市からの赤字補てんを強く要望する。

路線の概要

飯塚～大隈線



上山田線



車両台数			乗務員数			輸送回数			年間輸送人員 (平成29年度)
平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
5	5	4	6	5	4	27.0	24.5	19.0	288,788人

車両台数			乗務員数			輸送回数			年間輸送人員 (平成29年度)
平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
4	4	4	4	4	4	18.0	18.0	18.0	254,461人

● 赤字補てんを実施する場合におけるスケジュール

西鉄バス筑豊(株)が要望する令和2年10月1日運行分からの赤字補てんを実施する場合におけるスケジュールは以下を想定しています。

項目	R2年 6月	7月	8月	9月	10月以降
沿線自治体協議	運行・利用状況の分析、赤字補てん負担割合等に係る検討協議 				
西鉄協議	現状確認、赤字補てん負担相当額、利用促進策等に関する協議 				
赤字補てん契約	事業者、沿線自治体による赤字補てんに係る契約締結   赤字補てんに基づく運行開始				
議会	債務負担行為予算計上 